

事業番号	277
------	-----

平成26年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	小牧駅周辺整備事業							担当部	都市建設部			
	会計区分	一般会計			事業類型	施設整備系		担当課	都市政策課				
	事業期間	平成25年度			～	平成30年度以降		担当係	政策推進係				
	総合計画 分野別計画	主目的	6 都市基盤		21 市街地整備		1 鉄道駅周辺の都市機能を強化します						
		副目的	18-4		21-3								
	予算区分	款	8		項	4		目	3		大	6 中 2	
	根拠法令・個別計画	道路法、小牧駅周辺整備計画											
	目的 (対象をどのような状態にするのか)	小牧駅周辺整備計画をたたき台としながら、現状の駅周辺の利用実態及び将来の施設需要を把握し、市民の意見を取り入れながら適切な施設配置を行うことにより駅利用者の利便性を向上させ、本市の中心市街地として魅力を高め、賑わいを創出します。											
	内容 (手段)	<p>◆25年度実施内容 小牧駅周辺における自転車及び歩行者の流動状況を把握するため、市道小牧駅前線及び小牧駅西駅前広場のペDESTリアンデッキ等において、通行量調査(平日・休日各1日)を実施し、調査結果を整理した。</p> <p>◆25年度の直接経費の内訳 交通量調査業務委託料(661千円)</p> <p>◆26年度直接経費の内訳 旧桃花台線小牧駅舎跡地等整備基本構想策定業務委託料(8,000千円)</p>											
	受益者負担	無											

		単位	H23決算額	H24決算額	H25決算額	H26予算額		
コスト	費用	直接経費	千円			661	8,000	
		正職員	従事者数	人			0.50	0.70
			人件費	千円	0	0	2,630	3,682
		その他職員	従事者数	人			0.00	0.00
			人件費	千円			0	0
	費用合計	千円	0	0	3,291	11,682		
対前年比	%			#DIV/0!	#DIV/0!	354.9		
財源	一般財源	千円	0	0	3,291	11,682		
	国・県支出金	千円			0	0		
	その他財源	千円			0	0		

業	活動指標名	単位		H23	H24	H25	H26
	績	交通量調査箇所数	箇所	目標	—	—	5
実績				—	—	5	
業	市民アンケート調査の回収件数	件	目標	—	—	—	2,400
			実績	—	—	—	
業		件	目標				
			実績				
業	成果指標名	単位		H23	H24	H25	H26
	小牧駅周辺が便利と思う市民の割合	%	目標	—	—	—	32.3
実績			—	—	32.3		
業	名鉄小牧線の駅が利用しやすいと思う市民の割合	%	目標	—	—	—	42.7
			実績	—	—	42.7	

事業の自己評価	平成25年度の実施結果	事業の達成状況	A街区に整備される施設が明確となっていなかったため、歩行者動線計画策定業務のうち、交通量調査業務のみ行った。				
		事業実施における課題	歩行者動線計画を策定するためには、A街区に整備される施設を明確にする必要がある。 また、旧桃花台線の小牧駅舎の撤去方針が愛知県から示されたことから、その跡地利用についても検討する必要がある。				
		事業を縮小・廃止したときの影響	現状の駅周辺の利用実態に即した施設整備ができなくなるため、駅周辺の利便性が向上しない。				
	平成26年度の改善内容	26年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	A街区に新図書館が建設されることが決まったため、小牧駅から新図書館までの歩行者動線計画策定に向けて関係部署と調整を図る。 また、駅周辺の実態調査や市民アンケート調査を踏まえて、小牧駅前広場などの適切な施設規模、施設配置を検討する。				
	平成27年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)			
	判定理由	小牧駅周辺の利便性の向上を図り、中心市街地の活性化に寄与するため、継続して事業を実施する必要があるため。					
	27年度以降の改善案	関係機関と調整を図りながら、小牧駅周辺と新図書館の一体的な整備に努める。 また、旧桃花台線小牧駅舎の撤去時期について、愛知県と協議・調整を行う。					

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。 新図書館の建設に合わせ、小牧駅周辺利便性向上のための整備について検討を行なうこと。